

2018年8月

各位

日本ヘルスサポート学会

## 日本ヘルスサポート学会 第13回学術集会のご案内 —地域包括ケアシステム構築の先進的実践に学ぶ—

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は当学会の活動に関しまして、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当学会では来る8月29日(水)、慶應義塾大学三田キャンパス北館ホールにおいて第13回学術集会を開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

地域包括ケアシステムの構築が、地域特性に応じて進められています。地域包括ケアシステムはいま正に生成発展途上にあり、数多くの実践と議論がなされております。

今回の学術集会では、臨床現場から見る視点と利用者から見る視点の両方から先進事例からどのような学びがあるかについて取り上げます。

学術集会では、二部構成のシンポジウムを行います。

第一部は、システム構築の考え方・方法論に関する討議です。

- ①地域連携の当事者と役割に関して理学療法士等のリハビリテーションセラピストの役割
- ②利用者が必要とする生活支援は個々多様で「地域」の捉え方は行政区画に基づくだけでは捉えきれない。地域をどう捉えるのか

第二部は、「利用者視点からみた先進事例の展開に学ぶ」です。

大阪府大東市および大分県の先進事例の報告とその取り組みの特徴に関する講演をもとに討議します。

ご多忙の折とは存じますが、同封のご案内をご覧いただき、ご参加賜りたくご案内申し上げる次第であります。

敬具